

# たかさう 連携だより

2023年発行  
第200号  
9月号

地域連携症例検討会  
放射線治療科・疼痛緩和内科 ..... 2～3  
放射線治療科部長 永島 潤  
疼痛緩和内科部長 田中 俊行

診療科紹介  
疼痛緩和内科 ..... 4  
疼痛緩和内科部長 田中 俊行

泌尿器科 ..... 5  
泌尿器科(外科系診療部長) 柴田 康博

病棟紹介  
南7階病棟・北7階病棟 ..... 6  
南7階病棟看護師長 吉澤 智子  
北7階病棟看護師長 小林 智美

医療安全管理室の活動 ..... 7  
医療安全管理係長 鈴木 舞

薬剤部だより ..... 8  
栄養だより ..... 9  
医師紹介コーナー ..... 10  
地域医療連携登録医のご紹介 ..... 11  
セカンドオピニオンのご案内 ..... 12～13  
外来診療担当表 ..... 14～15  
院長閑話 ..... 16

谷川岳  
芝倉沢

撮影：患者サポートセンター 後藤 雅美

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構  
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36  
代表 (TEL) 027-322-5901  
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>  
地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)  
(TEL) 027-322-5835  
(FAX) 027-322-5925

## 【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

## 【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

## 【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

## 【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

# 地域連携症例検討会

第 37 回

## 放射線治療科・ 疼痛緩和内科領域疾患の 診断と治療の連携

2023年7月26日（水）に第37回地域連携症例検討会が開催されました。今回は「緩和的放射線治療」をテーマに、放射線治療科と疼痛緩和内科が担当しました。座長に緩和ケア診療所・いっぽの塚越規子先生をお招きし、多くの先生方に御参加いただきました。誠にありがとうございました。

### 放射線治療科

放射線治療は、手術、薬物療法と並ぶ「がん治療」の三本柱の一つです。体に負担が少ない治療法として、切らずにがんの治療をめざす根治的治療から、年齢や合併症等で手術や薬物療法が難しいのがんの治療やがんの症状を和らげる緩和的治療まで幅広く用いられます。



「緩和的放射線治療」とは、痛みをはじめとする身体症状の改善やQOL（Quality of Life、生活の質）の向上を目的として行われる放射線治療のことで、今ある症状だけでなく、今後起こりうる症状についての対応も含まれます（日本放射線腫瘍学会ホームページより）。緩和的放射線治療が適応となる代表的なケースとして、①転移性骨腫瘍 ②転移性脳腫瘍 ③脊髄圧迫症候群 ④上大静脈症候群 ⑤気道狭窄・閉塞 ⑥腫瘍出血などが挙げられます。治療時間は1回あたり15～30分程度です。治療回数は10回で行うことが多いですが、患者さんの状態や病気の広がりやを考慮して1回や20回以上で行うこともあります。今回の検討会では、放射線治療による緩和ケアにより身体症状の改善や生活の質の向上につながった症例を提示しました。

放射線治療センター長  
放射線治療科部長

永島 潤



放射線治療は、手術や薬物療法と比べて「全体的な影響・副作用が少ない」「臓器の形態・機能が温存できる」などの特徴があります。欧米ではがん患者さんの半数以上の方が放射線治療を受けていますが、わが国での普及率は30%程度にとどまっているのが現状です。

がん診療連携拠点病院として地域の先生方との連携、特に病診連携をこれまで以上に強化し、「病気になってもできる限り今まで通り生活できるように」スタッフ一同取り組んでまいります。お困りのことがありましたらいつでもお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。



## 疼痛緩和内科

「放射線治療科との連携～放射線治療完遂への支援」と題して、強い痛みがある患者さんに対し、どのようにして放射線治療を完遂することができたかを発表させていただきました。



婦人科がん（子宮頸がん再発、多発肺転移、大動脈周囲リンパ節）の患者さんで、緩和的放射線治療目的に入院されました。下腹部と腰を中心に、じりじりするような、熱くなるような痛みがありました。臥位になると10段階評価のNRSで最高8の激痛となり、30秒と持たない状況で、放射線治療の体位をとることが困難でした。したがって、尿管ステントの交換もできませんでした。オキシコドン速放製剤（レスキュー薬）は、「ある程度効く」程度で、予防投与の効果はありませんでした。座位が一番楽、夜は体育座りで寝ている状況で、食事は5割強、排便はほぼ毎日ありました。症状や画像から、難治性がん性疼痛の内臓痛症候群（正中後腹膜症候群）と判断しました。緩和ケアチームが介入となり、中程度の腎機能障害を確認し、医療用麻薬、NSAIDs、アセトアミノフェン、鎮痛補助薬などの定期薬に加え、①放射線治療の時間が確保できるように病室において治療中の体位の確認、②レスキュー薬の種類および量の決定、③副作用（特に眠気）の確認、を中心に日々実践を交え検討してきました。放射線治療科とは以下の目標を共有しました。①15分体位がとれること、②動かないこと、③膝を抱え込まないこと。また、放射線治療科と病棟との連携で、治療予定時間を連絡することで、投薬時間を調整しました。フェンタニル速放製剤の量・投与時間の決定に要した日数は、土日を含めた10日間でした。

疼痛緩和内科部長  
田中 俊行



以下が、放射線治療前の投薬内容です。

- アセトアミノフェンの投与時間 ⇒ 開始45分前
- ロキソプロフェンの投与時間 ⇒ 開始45分前
- フェンタニル速放製剤300 $\mu$ gの投与時間 ⇒ 開始45分前
- フェンタニル速放製剤400 $\mu$ gの追加時間 ⇒ 開始15分前
- 非薬物療法としての温罨法は有効で、放射線治療前までおこなう

「なんとかできました」「もう少し長くできると思います」と笑顔で喜んでいました。放射線治療（2Gy/fr、20回、total 40Gy）は予定通り完遂できました。また、尿管ステントの交換もできました。介入期間40日（入院期間51日）でした。「愛犬に会えるのが楽しみ」と話し、無事退院することができました。



このように、痛みで放射線治療が困難な症例に放射線治療科と連携して治療にあたっています。痛みが強く放射線治療が無理と思われる症例でも、完遂できるよう連携してまいります。



# 診療科紹介

## 疼痛緩和内科

疼痛緩和内科部長 田中 俊行



疼痛をはじめ、  
つらい症状に焦点をあて  
他科と連携して  
治療に  
あたっています

がん患者さんから、心の痛み（悩み、つらさ）や体の痛みのほか、今後の見通し・過ごし方・ご家族への思いなど様々な気がかりを耳にします。このようなつらさ（全人的苦痛）を、ご家族など誰かに相談できる患者さんもいれば、だれにも相談できず一人で悩んでいる患者さんもあります。時には、患者さんにご家族のそれぞれの思いの違いで、お互い悩んでいることもあります。人は、自分の思いを聴いてもらうと心が落ち着いてくるといわれています。生きる希望を失わないためにも、患者さんの言葉に耳を傾け、その対話のなかから、問題点や困っていることは何か、解決できることであるか、解決可能であればどのようにすれば解決できるかを一緒に考えていきます。一方で、時には解決できない悩み（いわゆる、スピリチュアル・ペイン）をぶつけてくることもあります。そのようなときは、正直、私もひるみます。しかし、それは“心の叫び”と捉え、うやむやにせず、しっかり対応することを心がけています。

外来では、基本、病気に対する診療科（肺がんであれば呼吸器内科、胃がんであれば消化器内科など）からの紹介となります。外来は、月曜日から金曜日までの午後、一人一時間枠（カルテ記載時間を除く）です。患者さんの全人的苦痛のみならず、ご家族へも目を向けますので、場合によっては、それ以上の時間をかけて診察しています。症例数は多くないですが、非がん患者も診ています。

入院では、チーム医療としてかかわっています。患者さんからの介入希望で、多職種で構成された緩和ケアチームとして病室にうかがい、サポートしています。また、地域連携症例検討会でお話した放射線治療科との連携など、他科と連携して治療にあたっています。

このように、疼痛緩和内科・緩和ケアチームは、疼痛をはじめ、つらい症状に焦点をあて介入しています。そして、患者さん・ご家族・医療従事者、すべてが同じ方向を向いて医療を行えるようサポートしていきます。登録医等、院外の先生方からのご紹介は、まず病気に対する診療科を紹介していただき、その診療科から「疼痛緩和内科」を院内紹介していただくシステムをとっています。病気の診療科にご紹介いただく際は、ぜひ「疼痛緩和内科または緩和ケアチームで痛みをみてもらってください」と、一言添えていただくとありがたいです。よろしくお願いいたします。



泌尿器科疾患  
全般の診療を  
行っています



# 診療科紹介

## 泌尿器科

泌尿器科 (外科系診療部長) 柴田 康博

泌尿器科は、前立腺癌、膀胱癌および腎癌など泌尿器科領域の悪性腫瘍をはじめとして、排尿障害に関わる前立腺肥大症や尿失禁、さらには男性不妊など、下表に示す泌尿器科疾患全般の診療を行っています。

### 診療可能な疾患：

泌尿生殖器腫瘍	腎腫瘍、腎盂腫瘍、副腎腫瘍、尿管腫瘍、膀胱腫瘍、尿道腫瘍、陰茎腫瘍、精巣腫瘍、前立腺癌、その他腫瘍
排尿機能障害	前立腺肥大症、神経因性膀胱、尿失禁、夜尿症、間質性膀胱炎
尿路結石	腎結石、腎盂結石、尿管結石、膀胱結石、尿道結石
精巣機能障害	男性不妊症、無精子症、乏精子症、精索静脈瘤など
泌尿生殖器の炎症	腎盂炎、膀胱炎、前立腺炎、精巣炎、精巣上体炎、尿道炎
腎機能障害	水腎症、腎不全（腎後性）
小児泌尿器疾患	包茎、陰嚢水腫、停留精巣
外傷等	腎外傷、精巣捻転、尿道外傷等

泌尿器科は2022年度から増員になり、日本泌尿器科学会専門医・指導医3名を含む4人常勤体制で診療を行っており、幅広い泌尿器科疾患の診療が可能です。新規の手術も積極的に取り入れ、診療の幅を広げています。本年度からは、前立腺肥大症に対する従来のレーザー手術（経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術、HoLEP）に加えて、低侵襲で高齢者や合併症のある方にも対応可能な経尿道的前立腺水蒸気治療（WAVE、Rezum™）を導入しています。

### 経尿道的水蒸気治療 (Water Vapor Energy Therapy, Rezum™)

・経尿道的に前立腺組織内へ加熱水蒸気を注入し組織を壊死



（画像引用 [https://www.bostonscientific.com/jp-JP/products/water\\_vapor\\_therapy\\_system/rezum.html](https://www.bostonscientific.com/jp-JP/products/water_vapor_therapy_system/rezum.html)）

本手術は左図に示す様に、腫大した前立腺に水蒸気を注入し、組織を壊死されるもので、10-30分で終了する低侵襲な手術です（手術後の症状が安定するまでには一定の期間を要します）。これまで、年齢や合併症により手術を受けられなかった方は、ご相談ください。

今秋には、手術支援ロボット「ダビンチXi」の導入が予定されています。これにより、前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘除術（RARP）、腎癌に対するロボット支援腎部分切除術（RAPN）など、泌尿器癌に対するロボット支援手術が順次行えるようになります。

当院の利点は、総合病院であることから、各科連携により心疾患、呼吸器疾患、糖尿病などさまざまな合併症を有する方の治療も行えることです。今後も常に診療内容をアップデートし、地域の中核病院として、質の高い泌尿器科診療を提供できるよう尽力して参ります。

# 病棟紹介

## 南7階病棟・北7階病棟

南7階病棟看護師長 吉澤 智子  
北7階病棟看護師長 小林 智美



南7階病棟看護師長  
吉澤 智子



北7階病棟看護師長  
小林 智美

当院では南北7階2病棟、計92床の病床を消化器病センターとしており、2病棟で協力して消化器外科・内科の患者さんに対応している病棟です。

消化器病センターには胃がんや大腸がんなどの手術を受ける患者さんや薬物治療や放射線療法など様々な治療を受ける患者さんが入院しています。令和4年度では消化器外科だけで400件以上の手術、内視鏡検査や治療も450件以上行われています。その他、肝臓疾患の原因や病態をしらべるための肝生検検査や、肝臓がんのラジオ波治療も行われています。

手術後の看護では、早期離床とストーマ管理に力を入れています。看護師はリハビリ部門と協働し、早期に手術前の生活に戻れるような関わりを行っています。また、患者さんの退院後の生活に合わせて退院指導を行い、当院のストーマ外来や地域の施設・訪問看護の方々と連携し、必要時は退院カンファレンスなどを開催し患者さんの支援方法を検討・共有しています。看護師はストーマ管理について実践を踏まえた勉強会を行い、技術の習得に励んでいます。

急性期から終末期まで多岐にわたる段階の患者さんを対象とし、それぞれのニーズに応じた看護が提供できるように緩和ケアをはじめ多職種と共にチーム医療で取り組んでいます。病状説明時には看護師も同席し、不安や疑問点などを患者・家族と共に話し合い患者個々にあった看護を考え寄り添えるように努めています。

消化器病センターでは定期的に2病棟での合同カンファレンスを行い、消化器外科・内科で協力して患者さんの支援ができるように取り組んでいます。消化器疾患は緊急で手術や検査が必要になるケースも多くあります。看護師は、緊急時いつでも対応できるように体制を整えています。今後も地域の皆様がいつでも安心して治療を受けられる体制を引き続き強化していきたいと思えます。



模型を使用した技術演習



ラジオ波の様子

# 医療安全管理室の活動 について

医療安全管理係長 鈴木 舞

院内全ての方の  
安全を守るために  
日々活動を  
行っています



医療安全管理室は、患者さんをご家族はもちろん、面会の方々や職員を含めた院内全ての方の安全を守るために、安全な医療を提供できるよう日々活動を行っています。

厚生労働省では、「患者の安全を守る」ことを中心とした医療安全対策を推進しており、医療安全への理解や認識を深めることを目的に11月25日（いい医療に向かってGo）を含む1週間を医療安全推進週間と定めています。当院でもその活動を推進しており、今回はその内容を紹介したいと思います。日頃の医療安全に関する取り組みや思いを標語として、各部署で作成したものを院内に掲示し、医療安全について考える機会を設けました。日々の業務の中で一旦立ち止まって考えることはとても大切だと考えています。外来や入院されている方でご覧になられた方もいらっしゃるかと思います。職員への医療安全に関する教育や指導・活動内容をお伝えする機会がない中で少しでも知っていただける機会になれば幸いです。



医療安全は毎日の安全行動（患者確認・確認行動・ルールの遵守等）を確実にいき、積み重ねていくことが大切だと日々感じております。患者確認のお願いや日々入院生活のご協力など説明をさせていただいておりますが、正しい安全行動をとるためには患者さんやご家族のご協力が必要となります。当院も全力で医療安全に努めて参りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

高崎太郎です  
1950年1月2日



お名前と  
生年月日を  
お願いします

# 薬剤部だより

薬剤部 関口 匠



今回は  
NST(栄養サポートチーム)  
における  
薬剤師の活動について  
紹介します

NST(栄養サポートチーム)とは栄養状態の評価と栄養療法の検討を行い、栄養状態の悪い患者さんの栄養療法をサポートするチームです。

当院のNSTは薬剤師の他に医師、歯科医師、管理栄養士、看護師、メディカルソーシャルワーカー、リハビリスタッフなど様々なメンバーで構成されています。これらのメンバーが一丸となって、病棟ごとに週1回カンファレンスと回診を行っています。

NST活動の中で薬剤師が大きく関わる場所としては、輸液や栄養剤の処方支援があります。最も多い内容は、患者さんの状態に合わせて最適な輸液の組み合わせを考えることです。そのほかには、患者さんごとの嚥下機能に応じて散剤への変更や錠剤の粉碎を提案しています。また、同時に投与する栄養剤同士でも相性の悪いものがあるので、相性の良し悪しも確認し相性が悪くならないよう変更を提案します。下痢や便秘をおこしてしまう患者さんに対して新しく薬を提案することもあります。このようにNSTの薬剤師は、薬剤にかかわる様々な視点から、栄養療法に関わっています。

NSTでは、カンファレンスや回診など患者さんの治療方針に直接かかわる仕事だけでなく、研究活動にも力を入れています。薬剤部からも、学会で症例報告や研究内容の発表を行っています。当院薬剤部にはNST専門療法士の資格を持った薬剤師2名が在籍しています。現在この文章を書いている私も、NST専門療法士の資格取得を目指して頑張っております。

私たちNSTの薬剤師は、このように薬学的な面から栄養療法を全力でサポートしています。



# 栄養だより

## 「がんになるリスクを減らす5つの生活習慣」

日本人の2人に1人が一生のうち一度はなるといわれているがん。  
がんと生活習慣には関連があり、「日本人のためのがん予防法」では5つの改善可能な生活習慣を取りあげています。

### ① 禁煙する

たばこを吸う人は吸わない人に比べて、何らかのがんになるリスクが約1.5倍高まります。他人のたばこの煙も避けるようにしましょう。

### ② 節酒する

飲酒は、肝細胞がん、食道がん、大腸がんと強い関連があるといわれています。女性の方が男性よりも体質的に飲酒の影響を受けやすく、より少ない量でがんになるリスクが高くなるという報告もあります。

飲酒量の目安（1日あたり純エタノール量換算で23g程度）

お酒を飲む場合は、以下のいずれかの量までにとどめましょう。



### ③ 食生活を見直す

「塩分や塩辛い食品のとりすぎ」「野菜や果物をとらない」「熱すぎる飲み物や食べ物をとること」が、がんの原因になるということが明らかになっています。塩分を抑える、野菜と果物を食べる、熱い飲み物や食べ物は少し冷ましてからとる習慣をつけていきましょう。

### ④ 身体を動かす

仕事や運動などで身体活動量が高い人ほど、がん全体の発生リスクが低くなるという報告があります。普段の生活の中で無理のない範囲で身体を動かす時間を増やしてみましょう。

### ⑤ 適正体重を維持する

肥満度の指標であるBMI<sup>\*</sup>値が、男性は21.0～26.9で、女性は21.0～24.9で、がん死亡のリスクが低いことが示されています。太りすぎ、痩せすぎに注意しましょう。

<sup>\*</sup>BMI (Body Mass Index) : BMI値 = (体重kg) / (身長m)<sup>2</sup>

# 医師紹介

当センターの医師を紹介します。



消化器内科

ますだ ともゆき  
**増田 智之**

高崎総合医療センター消化器内科の増田智之と申します。胃・大腸などの消化管疾患を中心に、内視鏡検査/治療、IBD診療などを主に担当しております。元々は千葉の出身ですが、センター試験結果に導かれるがまま、群馬大学医学部に入学。以後群馬県内での医療に従事しております。休日は妻・娘たちとともに趣味の料理・音楽活動、内視鏡操作向上につながる目と指の訓練と称してゲームをして過ごしています。

2017年より当院での勤務を開始し、今年で7年目。乗り物で過敏性腸症候群を発症しやすく、1時間近い通勤で度々爆発するお腹をかかえ、数年で転職かと思っておりましたが、気づけば自身にとって最長期の勤務先となりました。高崎安中を中心に、東西南北広い範囲から患者さんが受診される当院の中で、非常に沢山の患者さんをみさせていただきました。これからも優秀かつ頼りになる上司、真摯に患者さん・医療に向き合っている後輩達の助力を得ながら、少しでも地域のお役に立てればと思っております。よろしくお願いいたします。



神経内科

からさわ まさき  
**唐澤 将紀**

はじめまして。令和5年4月から高崎総合医療センター神経内科に入職いたしました唐澤 将紀と申します。東京都出身、神奈川の中学高校育ちで、大学から群馬に来ました。群馬に来てから10年以上が経ち、酷暑にも乾燥にも強風にもだいぶ馴染めました。県内の病院で初期研修を行った後に群馬大学医学部附属病院で勤務し、今年度から当院に赴任いたしました。当院での勤務は初めてで日々様々な刺激を受けています。

神経内科は脳梗塞からパーキンソン病などに代表される神経変性疾患、てんかん、末梢神経障害などなど、多岐に渡る疾患を診療させていただいております。中には「症状があるのは確かだけど、うまく言葉にできない」という場面が多い診療科でもあると感じています。そういった悩みにできる限り寄り添って外来・入院での診療を行っていきたいと考えております。至らぬ点も多いかと存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

# 地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

## 宮川皮膚科クリニック

### 院長あいさつ

地域のかかりつけ医をめざし、日々患者さんとの触れ合いを大切に、地域医療に従事しています。患者さんが話しやすくなるような雰囲気づくりにも、細心の心配りをしています。

皮膚に関してのお悩みや心配事などがございましたら、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。



宮川皮膚科クリニック  
院長  
**宮川 真梨江**

### 診療科・病院案内

#### 皮膚科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	△	●	●	△
午後(15:00~18:00)	●	●	●	△	●	◆	△

◆ 土曜の午後は14:00~16:30まで

群馬県高崎市金古町706-7  
TEL: 027-373-8855

当クリニックは、治療を始める前にカウンセリングの時間を充分とり、患者さんのお話をじっくりお伺いいたします。その上で、より最適な治療方法をご提案し、治療内容や使用するお薬にいたるまで、わかりやすくご説明をいたします。患者さんに治療方針をご納得いただいたうえで治療を開始していきますので、安心してご来院ください。

## どんぐりこども診療所

### 院長あいさつ

小児科とアレルギー科、消化器科の専門医院として、適切な医療を提供することを目指しています。また、地域の方々のためのホームドクター的な役割を担っていきたくと考えています。



どんぐりこども診療所  
院長  
**田端 雅彦**

### 診療科・病院案内

#### 小児科・アレルギー科・内科・消化器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	◎	●	●	△
午後(14:30~18:00)	●	★	★	△	●	△	△

◎ 木曜午前 9:00~12:30

★ 火曜・水曜午後 15:00~18:00

※ 火曜・水曜午後診療は15時より予約優先

【予防接種】

(火曜・水曜) 14:00~15:00

(金曜) 14:00~14:30

埼玉県本庄市緑2丁目12-10 TEL: 0495-21-8885

予約: 0495-21-8891

当診療所は、心臓・胸腹部などの部位全ての超音波検査ができ、先天性心疾患から腸重積・肝・胆のう疾患など消化器疾患まで幅広く対応できます。処置室のベッドは全て個室です。輸液(点滴)中に子どもさんがあきないようにTV、VTR、DVDがみられます。

# セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。  
概要につきましては以下のとおりです。

## 01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

## 02 実施診療科 【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、  
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、  
脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、  
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



### 予約方法

### 完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し  
当センターより連絡させていただきます

### 外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

### 費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

## セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的に勧めしております。

## セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	家田 敬輔	上部消化管	水
	平井 圭太郎	肝臓、胆のう、膵臓	水
	宮前 洋平	下部消化管	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	随時
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

# 外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。  
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 植原 大介	(田村 耕成) 予約のみ	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史) 午後：予約専門外来	佐藤 正通 植原 大介 予約のみ
栄養食事指導外来		佐藤 正通 午後			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	倉林 理紗 (植原 正也)	植原 良太 倉林 理紗	渋沢 信行 午後	渋沢 信行 植原 良太
神経内科	椎名 葵 (池田 雅美) 午前	平柳 公利	平柳 公利 初診のみ 唐澤 将紀	柴田 真	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 (星野 裕紀) 午前	細野 達也 内田 恵	田口 浩平 小林 頂	中川 純一 竹村 仁男	細野 達也 内田 恵
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 相原 幸祐 (石原 弘) (廣田 堇) 午後	星野 崇 鈴木 悠平 佐野 希望 相原 幸祐 午前	柿崎 暁 安岡 秀敏 増田 智之 増田 智之 鍋木 琢也 (石原 弘) (小林 倫太郎) 午後	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平 古市 望 午前	星野 崇 佐野 希望 田村 優樹 (小林 倫太郎) (廣田 堇) 午前
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 田村	安岡 / 増田 / 古市	上原 / 佐野 / 相原	上原 / 佐野 / 相原	長沼 / 鈴木 / 鍋木
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 村田 智行 瀬田 博貴 第1, 3週午前	石橋 洋平 高橋 伸弥 午前	広井 知歳 太田 昌樹 羽鳥 直樹 午前	福田 延昭 高橋 洋右 千吉 良彩花 第1, 3週午前 第2, 4週午前	太田 昌樹 小林 紘生 柴田 悟 午前
新患外来(午前)	高橋 伸弥	柴田 悟	村田 智行	羽鳥 直樹	石橋 洋平
心不全予防外来		第2, 4週午後			
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前
小児科	五十嵐 恒雄 内田 亨 田口 未奈 前原 孝 (荒川 篤康) 午後	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 斎藤 淑人 (神尾 綾乃) 第4週午後	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 佐藤 幸一郎 (滝沢 琢己) <乳児健診> 午前	倉田 加奈子 植原 実紅 東野 允奎 (西澤 拓哉) (岩脇 史郎) 午後	五十嵐 恒雄 佐藤 幸一郎 小笠原 聡 (浅見 雄司) 午後は第1, 2, 4, 5週のみ 第3週午後のみ
小児外科		(西明・高澤慎也) 第4週午後	(西明・高澤慎也) 第1, 3週午後		
外科 (消化器)	坂元 一郎 斉藤 秀幸 午前：通常 / 午後：肝胆膵専門外来 午前：通常 / 午後：食道専門外来	小川 哲史 星野 万里江 小川 哲史 午前	家田 敬輔 生方 泰成 午前：通常 / 午後：上部消化器専門外来	平井 圭太郎 井田 晃頌 午前	宮前 洋平 齊藤 裕紀乃 午前
栄養サポート外来		小川 哲史 午後			
禁煙外来					
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	予約	
泌尿器科	井上 雅晴 栗原 聰太 午前	栗原 聰太 柴田 康博 午前	交代制	柴田 康博 井上 雅晴 午前	交代制

## 01 外来診療受付時間

8:30~11:00迄

(予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

## 02 休診日 土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。

地域医療支援・  
連携センターから  
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、  
地域医療支援・連携センターを通した  
事前予約にご協力下さい。

令和5年9月1日現在

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科 看護相談外来	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前	(荻野美里) 第2,4週午後 (田邊東子) 第1,3,5週午後 交代制 午前・予約	高他大輔 午前 徳田尚子 第1,3,5週午前 成澤瑛理子 第2,4週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 大島淳文 都築俊平	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 都築俊平	新井厚 午後 遠藤史隆	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
形成外科	交代制 <手術日>	中村英玄 午後 角田彩	中村英玄 午前 角田彩 午後	<手術日> 角田彩 午前	中村英玄 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳 (井上千鶴) 午前	齋藤貴寛 岡田悦子 第2,4週午前 上原顕仁 第2,4週午前 (石川真衣) 第1,3,5週午前	<手術日> 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前	笹口修男 午前 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前	佐藤晃之 午前 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前
産婦人科 遺伝性腫瘍外来	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 周藤周	<産後健診>	(金井眞理) 午前 塚田蓉子 午前	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 午前 岡宮智史
放射線治療科	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (天高建) 午前	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (富澤建斗) 午前
歯科口腔外科 新患外来	柴野正康 紹介・予約	<手術日>	田中斉 紹介・予約	柴野正康 紹介・予約 田中斉 紹介・予約	<手術日>
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	田中斉 紹介・予約 稲川元明 第1,3,5週のみ、紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約 (荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約

( )の医師は非常勤です。

### 03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

### 04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

# 院長閑話

vol.28

## 筋肉は裏切らない？

院長 小川 哲史



今、日本全国、老若男女を問わず筋トレが流行っています。近年の健康ブームに加えてコロナ禍が流行に拍車をかけたように、当院でも研修医をはじめ多数の職員が筋トレに励んでいます。大リーグの大谷選手やボクシングの井上選手などスポーツ選手が競技のために肉体を鍛える、筋トレするのは当然でしょうが、デスクワークの人やドラマでみる普通の俳優が不自然なほどの筋肉を誇っているのは、かなりの違和感があります。何といても衝撃的だったのは、カーリング女子の藤沢五月選手、日焼けした褐色の肌に激やせのバキバキ筋肉を見た時、あまりの驚きに言葉もありませんでした。「手段」ではなく、「目的」としての筋トレはそれ自体が快樂なのかも知れませんが、モリモリのボディビルダーを見ると、本来的な使用をすることのない(不要で無駄な?)筋肉が「重くて大変だろうな」と余計な心配をしてしまいます。

欧米では、筋肉隆々の肉体美に対する憧れ、筋肉礼賛の思想は紀元前のギリシャ時代からありますが、日本では歴史上、つい最近まであまりなかったような気がします。例外的に作家の三島由紀夫氏がいますが、彼は自身のひ弱な肉体を変えるためボディビルに打ち込み「筋肉は筋肉それ自体を目的として鍛えられねばならない」と言い、「太陽と鉄」という一冊の評論まで書いています。「太陽」とは日光浴のことで「鉄」とはダンベルやバーベルのことです。その本の中で自身の肉体改造の動機、経過などを詳細に分析して述べており、少々難解ですが独特の表現で非常に面白いのでそのまま紹介します。

「近代生活に於いてほとんど不要になった筋肉群は、まだわれわれ男の肉体の主要な構成要素であるが、その非実用性は明らかで、大多数のプラクティカルな人々にとって古典的教養が必要でないように、隆々たる筋肉は必要でない。筋肉は次第次第に、古代ギリシャ語のようなものになっていた。その死語を蘇らすには、鉄による教養が要り、その死の沈黙をいきいきとした饒舌に変えるには、鉄の助力が要るのだった。」

「私は鉄を介して、筋肉に関するさまざまなことを学んだ。それはもっとも新鮮な知識であり、書物も世故も決して与えてくれることのない知識であった。筋肉は一つの形態であると共に力であり、筋肉組織のおのおのは、その力の方向性を微妙に分担し、あたかも肉で作られ成された光りのようだった。」

「自意識が発見する滑稽さを粉砕するには、肉体の説得力があれば十分なのだ。すぐれた肉体には悲壮なものはあるが、みじんも滑稽なものはないからである。しかし肉体を終局的に滑稽さから救うものこそ、健全強壮な肉体における死の要素であり、肉体の気品はそれによって支えられねばならなかった。」

そして、晴れてボディビルダーとなった三島氏は、「私は私の文体を私の筋肉にふさわしいものにしてしたが、それによって文体はしなやかに自在になり、脂肪に類する装飾は剥ぎ取られ、筋肉的な装飾、すなわち現代文明の裡では無用であっても、威信と美観のためには依然として必要な、そういう装飾は丹念に維持されていた。」

なんと強烈な自己分析と表現、三島由紀夫氏の人生を考えると何とも言えませんが、さすが天才文学者の面目躍如です。

美しい肉体の判断・基準は時代や地域によって全く異なりますが、理想的な肉体は男性なら何といてもブルー・スリーでしょう。女性なら色白でぽっちゃり、笑顔が素敵な筋トレ前の藤沢選手のような感じだと思いますが…。しかし、こういう考え方も今の時代は女性差別になるのでしょうか。

(8月22日)

## Information

行事などのお知らせ

### 第39回地域連携症例検討会

#### 泌尿器科領域疾患の診断と治療の連携

日時：2023年10月18日(水) 18:45~20:00

演者：高崎総合医療センター

泌尿器科(外科系診療部長) 柴田 康博

対象：医療従事者

高崎総合医療センターよりWEB配信

※申し込み必要



登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。  
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

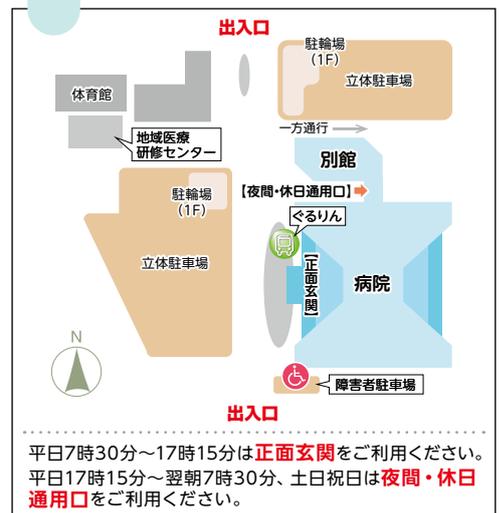
<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



高崎総合医療センター  
公式 Facebook

### 高崎総合医療センター案内図



平日7時30分~17時15分は正面玄関をご利用ください。  
平日17時15分~翌朝7時30分、土日祝日は夜間・休日通用口をご利用ください。



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター